



(住所) 宇陀市室生1297  
(祭神) 高麗神  
(文化財) 本殿は県指定文化財  
(交通) 近鉄・室生口大野駅からバ

ス「室生龍穴神社」下車すぐ  
(拝観) 境内自由  
(駐車場) なし  
(電話) なし

### 室生龍穴神社 (宇陀市)

室生龍穴神社は、雨乞いの神として知られる高麗神を祭る古社です。神社の背後の岩窟を、龍神のすむ「龍穴」として祭ったことを起源としています。

この龍神は、もともと奈良の興福寺の猿沢池にすんでいました。ところが奈良時代、帝の寵愛が



薄れたことを悲しんだ采女が池に身投げしました

た。この穢れを嫌った龍神は、春日山の奥に潜み、さらに室生にやって来たと伝わります。現在この岩窟は「妙吉祥龍穴」と呼ばれます。龍穴の前には清水が蛇行した龍のように流れ、厳かな雰囲気

本殿は一間社春日造り（正面の柱間が一つの切妻屋根で、棟と直角な面に入口がある様式）で、奈良の春日大社若宮社の旧社殿が江戸時代の1671（寛文11）年に移築されたものです。県の文化財に指定されています。拜殿は、徳川五代将軍綱吉の生母・桂昌院の援

助を受け、室生寺の般若堂を移築したものと伝わります。拜殿の正面には「善如龍王社」の扁額がかかっています。かつては龍の神様「善如龍王」を祭り、この神社のことを「龍王社」と呼んでいました。秋祭りには黒と赤のたてがみの二頭の獅子が、鈴や剣を持って神樂を勇

# 雨乞いの龍神祭る古社

に奉納します。  
(奈良まほろばソムリエの会副理事長 松浦文子)